

一般社団法人 徳島県作業療法士会
第4回理事会

日 時：平成28年7月12日 19:00～21:00

場 所：ふれあい健康館 第3会議室

出席者：理事

岩佐英志、細川友和、坂東仁志、井上俊子、上田裕久、河野裕美子、上原さおり
栗村知治、小森和樹、松村幸治、吉野哲一、大浦江美子

監事

櫻井宏美

他に召集された者

なし

欠席者：岡桃子

議 長：岩佐英志

書 記：濱敬介

(敬称略)

I. 報告事項

(教育部：小森理事)

1. 平成28年度現職者共通研修の報告について

日 時：平成28年7月7日

参加者：37名

90分間の研修を行い終了後に30分間鳴門市総合事業の説明会を実施した。数名が参加。
今後も説明会を行っていく予定。

(細川副会長)

1. 地域包括ケア会議に視する人材育成研修会の参加報告

平成28年6月25日、26日

出席者：細川副会長、松村理事

内 容：地域ケア会議の内容がほとんどを占めた。グループワークが必須。

総合事業に関する研修会を開催していく予定。地域包括ケア会議に資する人材育成研修会は来年度も開催予定。

会議資料は理事内で閲覧できるよう各自ダウンロード可能となっている。期限があるので早めにダウンロードする。

(事務局：坂東事務局長)

総務部

1. 平成 28 年度末の会員状況について
 会員数：524 名 現在の申請者：16 名 会費納入者：313 名 納入率：59.7%
2. メール配信の再開について
 Web サイト管理委員会との調整済み。8 月 1 日よりメール配信を再開する。各会員へは書面により通達済み。以後、メール配信の希望があれば栗村理事まで連絡。
3. 「研修受講料の入金方法」に関する案内
 セブン銀行より案内あり。研修参加費の管理について当士会でも導入を検討してほしいとのこと。
4. 平成 28 年度第 1 回徳島県在宅医療・介護推進協議会の開催について
 日時：平成 28 年 7 月 29 日（金）14：00～15：30
 場所：徳島グランヴィリオホテル
 出席者：細川副会長
5. とくしま福祉機器展への共催について
 福祉機器展事務局より連絡あり。メール内容は役員回覧済み。
 今後の対応について、担当部局と担当者の決定を求める。
 担当部局：公益事業部（井上理事）
 ⇒承認
6. 鳴門市総合事業部
 事業参加セラピスト数：30 名（前月+1 名）
 対象地区 5 地区（内、山上地区サービス提供なし。大津地区は訪問のみ）
 8 月からの展開に向けて、チームの再編を行う（以下、案）。

地区	南浜地区（火）	林崎地区（月）	大麻地区（木）	山上地区（金）	大津地区（火）
リーダー	細川 友和	小森 和樹	栗村 知治	佐々木 寛和	坂東 仁志
カンファ	リハビリテーション大神子	中州八木病院	福祉ホームリズム	鳴門山上病院	徳島赤十字病院
メンバー	佐伯 浩佳	狩野 由美	石川 朋美	谷村 典哉	河野 祐一
	田中 裕洋	久米 由賀利	澤口 尋規	森 拓也	国清 篤志
	谷村 奈美	藤本 拓也	吉野 哲一	森 直樹	新名 大介
	津守 椋太	岡田 聡美	吉川 愛		濱 敬介
	鶴熊 洋樹	小縣 祐介	吉永 美貴子		吉川 愛
	富岡 大和	太田 明李			

- 1) 7 月 21 日に全大会を行う予定（場所：ジラソーレ大松 時間：19：00～）。
 鳴門市より村橋氏が参加する予定。現チームと新チーム間による引継ぎが主となる。
- 2) 報酬に関する管理運営業務の委託について、税理士法人アクシスと契約を締結する予定。
 （報酬計算と支払資料の作成、支払調書の作成ならびにマイナンバー管理を委託する。）

(認知症支援推進部会：大浦理事)

1. 認知症サポーター養成講座の実施について

- ・今後、全市町村に認知症初期集中支援チームが配置されることに伴い、できるだけ、全地域の会員の参加を促すため、各地域で行いたいと部員から提案あり。
場所、時期等は未定。
- ・講師は、県に相談したところ地域で活躍しているキャラバンメイト〈包括支援センター、ドクターなど〉に依頼し、地域における認知症の現状なども踏まえ、お話して頂く予定。
- ・講座後、会員に向けて認知症部会が発足したこととその役割、また認知症初期集中支援チームについて周知する。
- ・アンケートを作成し、会員の現状や認知症に対して困っていることを聞き、それらを基に今後の活動方向や研修内容などを決定する予定。

2. 認知症初期集中支援チームについて

現在、設置している市町村（鳴門市、阿南市、神山町、吉野川市）について、作業療法士が参画していないか包括支援センターなどに確認を行う。

参画している作業療法士がいれば、研修などを依頼する予定。

(坂東事務局長より)

- ・鳴門市基幹型地域包括支援センターで認知症初期集中支援チームを設置しており、そこで働く求人（ケアマネージャーの資格を有する作業療法士）を募集している。
⇒周知に関しては士会ホームページで行う。
- ・老年期分野に関する勉強会の実施状況について
退会者より、自身が老年期分野で務めているため、老年期に関する勉強会や研修会がないか事務局に問い合わせがあった。老年期 SIG の現状がどのようになっているのか？
⇒河野理事：現在も行っている。
今後の問い合わせに関してはホームページを閲覧するようにすすめる。

(啓発活動部：松村理事)

1. 高校生向けの職業体験について

徳島県下の高等学校に 6 月初旬に依頼文を発送済み。

7 月 12 日時点で 38 校中、返信は 6 校。

依頼 3 校（鳴門高校、穴吹高校、池田高校）

返信無しの高校からのコメントとしては、情報が飽和しているため大丈夫とのこと。

依頼があった高等学校については、きたじま田岡病院、吉野川医療センター、三野田中病院に希望があったため各病院に連絡を行い、日程調整を実施済み。

また、見学時の対応の仕方については高校生ということもあり見学実習より更に一步

手前の対応を病院担当者に伝達している。

- ・穴吹高校進路課の先生より

オープンキャンパスと並行して更に興味がある生徒が学校でも把握しやすくなったため助かりますと意見を頂いた。今後は1年生のみでなく全学年に周知する。

- ・依頼のあった高校について

県内にある養成校から遠方に位置する高等学校からの依頼が多い傾向にある。これは、オープンキャンパス等に参加するにはアクセスが難しいからではないか。

2. 中学校の現場見学について

嶋島第一中学校より9月28日に人権授業の一環として病院見学の依頼が正式にあった。学校が希望した2病院へ見学の依頼済み。今後は学校教職員と病院側での話し合いを進めていく予定。

3. 中学校より出張講座依頼について

中学から2件依頼が入る予定。

4. 今後の予定について

高校生を対象とした職業体験に関しては、参加した高校生を対象としたアンケートを作成し調査を検討している。病院側に負担がかからないよう、高等学校で実施して頂き松村理事に返信する方向です。来年度に繋げるよう修正すべき箇所や配慮すべき点について検討していく。

(岩佐会長より)

- ・県外の養成校に定員割れが目立ち始めている。今後このような啓発活動が重要になってくるため積極的に取り組む必要がある。

(河野理事)

1. MTDLP 実務者研修（事例検討会）の報告について

日時：平成28年7月10日（日）

発表者：3名

事例登録が可能ではないかと思われる程充実した内容であった。

2. 基礎研修の日程について

日時：平成28年8月7日 ⇒11日に変更

平成28年10月2日 ⇒変更予定

日程が決定次第周知する。

(学術部：吉野理事)

1. 第16回徳島県作業療法学会について

日時：12月18日（日）

場所：アスティ徳島 第4・6会議室

学会長：小森理事

特別講演「リハ医の視点、OTにもとめること」

講師：倉田浩充医師

ランチョンセミナー：大規模災害関係

講師：細川副会長

一般演題発表 10 演題程度を予定

ワークショップ① 運転支援関係

ワークショップ② 検討中（精神分野を予定）研修会などで上がっている方に打診予定。

・学会参加費について

無料

来年度から徴収する予定。今年度と来年度が比較できるように。

・学会誌について

学会誌発送費が士会運営を圧迫しているため、学会誌の発送方法を検討する。

以下に案を提示する。

①今年も会員全員に発送する。

②ホームページに PDF で学会誌の内容はダウンロードできるようにし、学会参加者に学会誌を渡す。

③ホームページに PDF ダウンロードし、学会参加者は無料。但し学会誌は有料。

⇒検討中

・総会議事録を発送しただけで約 4 万円の支出。おそらく倍以上になるのではないか。

・ダウンロードを会員に限定できるように設定する必要があるのではないか。

・予算内に収まるのであれば全員に発送するべきではないか。

・ダウンロードにすると広告を出している企業に影響が出るのではないか。

・ホームページログイン後にダウンロードできるようにすればログインナンバーを設定しなければならない。

・学術研修会

日時	内容	講師	場所	時間
7月15日	在宅医療☆	馬木 Dr.	鴨島病院	19:00～
未定	がんリハ	未定	未定	未定
未定		田岡東 松下 OT	未定	未定
未定	精神	徳島大学 寺橋 OT	未定	未定
未定	呼吸	赤十字	未定	未定
未定	認知症☆	大下直規	アエルワ	未定
未定	ハンド	未定	未定	未定
未定	身障 ADL☆	土佐リハ 箭野 OT	未定	未定

未定	難病コミュ☆	ICT 救援隊	未定	10 時間
未定	HUG	未定	未定	未定

- ・ ☆印が記載している内容は開催が決定している。
- ・ ICT 救援隊に関してはメディア戦略として今後も継続していきたい。
- ・ HUG に関しては、県内に実施できる方がいたため依頼する予定。そのために、開催日程、予算、HUG の必要セット数を検討しなければならない。

(坂東事務局長より)

- ・ 7 月 15 日の在宅医療に関しては士会ホームページにアップされているのか。
⇒関連資料は発送している。現時点で定員 30 人は満たしていない。
- ・ 参加者で県士会費を未納の方がいれば徴収するよう吉野理事に依頼。
- ・ 県士会行事
 - 9 月 18 日
 - 10 月 9 日
 - 11 月 26 日・27 日
 - 1 月 15 日
 - 2 月 5 日

(上田常務理事)

1. 介護保険サービス利用者研修会の参加報告 (神山町)
日 時：平成 28 年 6 月 26 日
参加者：約 30 名
 2. リーダー研修会
全ての講師に連絡済み。予定通りにすすめる。
 3. 選挙活動の報告について
立候補者：小川かつみ氏
13 万票を獲得し当選。
- ・ リハビリ関連職種の介護化が進行しているのではないか。
県内でもモデル事業の対象となっている施設もある。

(広報部：栗村理事)

1. メール配信の再開について
6 月から 7 月までで申請者 4 名 (内返信メールが受信できたのは 1 名。3 名は保留状態)
どの段階でエラーが出ているのか確認する。
2. Facebook の閲覧数について
5 月 15 日 定時社員総会 1038 名
5 月 25 日 鳴門市総合事業の説明会の告知 約 400 名

26日	説明会当日	約 400 名
	新人歓迎会	約 800 名
6月8日	熊本地震の医療救護班の報告会	約 680 名

3. ホームページに掲載している理事のコメント変更について
(井上常務理事)

- ・選挙時に作成したコメントに変更してほしい
- ・理事、部局の広報
各部局の部長についてもコメントを頂く

⇒承認

(坂東事務局長)

- ・部長の変更があれば報告してほしい
- ・選挙趣旨書をまとめて栗村理事に提出する
データを選挙管理委員の桂先生に頂き栗村先生に送信する。

II. 審議事項

1. 10年度の作業療法士会について

(上田常務理事)

- ・一般社団法人について

「営利とは社員に分配することを意味するので、利益が出たものを分配しない組織というのが正式な一般社団法人の在り方です。非営利であれば収益を上げる目的や法人内の教育を目的としても良いということになります。県士会は会員の会費で運営しているため、どのような団体か定款にも載せなくてはならず、余った利益に関しては次年度の活動資金とすることが前提となります。今後の課題としては、組織率と納入率の向上、研修会等の活動内容の充実、地域包括ケアシステムに関する人材育成、作業療法士という職域の普及・啓発が重要となってくると考えます。」

⇒ (岩佐会長)

「現時点で会費は6千円、納入率から考えると240万円程度となり運営が難しい。繰り越した預助金では今後見通しがつかない。今後、研修会費または士会費で収入を得るのか。」

⇒ (上田常務理事)

「根本的に活動内容を深く話し合うべきであり、会員に向けての団体という意識が大切だと思います。会費や予算から研修会の内容を考えるのではなく、充実した研修会を行う為にはどの程度の予算が必要であるかという逆の発想が大切ではないか。」

⇒ (細川副会長)

「予算内に収まるかどうかではなく、まずはしっかり会員に還元するべきである。これが大前提であり、部員に対しても報酬を支払うべきではないか。その上で、会費を上

げるかを検討するのはどうか。現時点で会費を上げると預助金があるのになぜ上げるのかという不満が出てくれるのではないか。」

⇒ (岩佐会長)

「公とならないところで活動を担ってくれている会員に対してもしっかりと報酬を支払っていききたい。」

⇒ (上原理事)

「支払い基準については各会計係に配布していますが、それが上手く活用されていないかもしれないので確認する必要がある。一度会計係を集めてマニュアル等も見直していきたいと考えています。」

⇒ (井上常務理事)

「印象としては正確に把握できていないのではないか。議案書の決算の際に現時点で支出の割合を占めている部局はどこでしょうか。」 →確認して報告

⇒ (吉野理事)

「活動ごとに支払われる金額は決まっているのか。時間単位の金額はどうなっているのか。」

⇒ (岩佐会長)

「その件で、問題なのが各部が活動として算定していないことが挙げられる。」

⇒ (細川副会長)

「労働賃金としては支払えない。源泉徴収票を作成しないといけないので、2時間を超える会議・研修会には弁当代(1,500円)、交通費30円/Kmとして支払っている。支払うのは部長の判断であり、これも問題となるのではないか。更に支払う形式を全員で統一しておかなければならない。」

⇒ (吉野理事)

「研修会等は支払っているが、毎回ごとの会議では支払っていないので今後はしっかりと支払っていく。支払うにあたり会議ではそれだけの意見交換を行うよう会議内容の充実をはかっていきたい。」

⇒ (坂東事務局長)

「それでは今後、会議・研修会では弁当代(1,500円)、交通費30円/Kmとして支払うと各部局に周知していく方向でよろしいでしょうか。」

⇒ (上田常務理事)

「前回の話では研修会等の参加費を無料にする方向となっていたが、様々な研修会や学会で参加費を徴収しても良いのではないのでしょうか。」

→共通研修等で参加費を徴収するかどうか検討

⇒ (吉野理事)

「普段は減多に受講できない講師の講演(特別な研修会=プレミアム研修会)のようなものを開催してはどうか。」

⇒ (上田常務理事)

「やはり本来は予算を部局内で詳細に検討する必要がある。休日を利用して役割を担っている部員に対してしっかりと支払っていききたい。」

⇒ (岩佐会長)

「年間 50 万円ずつ繰越金が減れば 6 年で底をつくことになる。その後、研修会費や士会費を上げるための検討を行う必要がある。」

・ 県士会員数がどこまで増加するか (10 万人あたりの OT 数)

目安としては 10 万人あたり 100 人のセラピスト

徳島県は全国平均より多い

他職種と共存共栄していくためにはどのような戦略が必要か

市区町村と連携して施設から在宅へシフトし自立支援や社会参加を促進していく (循環型)

・ 鳴門市総合事業を他の市町村にすすめる

⇒ 県士会員だけでは人員不足であるため、市町村担当者を育成していかなければならない

・ 西部、東部、南部ブロックの設置を検討する

会員の把握や連絡の強化を図る

各ブロックには担当理事を配属

士会理事を増やしその理事を育成し配置する

そのブロックを災害時にも活用できるように

現時点で開催が決定している研修会に関しては会員に周知し来年度以降ブロックごとに研修会を開催するかは今後の検討事項とする

・ 下半期予算案作成について

9 月末の収支報告書を作成し見直す

・ 部会開催頻度と会員数を出す

部会に関しては部員リスト、会議・研修会等の開催頻度、交通費を提出

会員数は 7 月末時点

・ 県士会費、研修会費を上げるもしくは徴収する

2. 士会組織の運営について (ブロック化等、組織強化となる提案)

(吉野理事)

・ 認知症研修会の開催について

研修会場はマリルを拠点に実施していく予定。

MTDLP の研修会もそこから拡大させていく。

⇒ 南部地区に関しては「南部いきいき連絡協議会」が開催されている。

それらを活用してみてもどうか。

3. いきいき百歳体操、士会の提案する DVD 作成

(岩佐会長)

- ・ 県士会オリジナル DVD を作成するか検討
作成する場合は財源の確保としてモデル事業費の申請を検討する
- ・ 監修を依頼する必要もある

(坂東事務局長)

- ・ 体操は作業療法士が行い、DVD には理学療法会と出るため利用者の方は理学療法士が指導してくれていると思っている可能性がある

(井上常務理事)

- ・ 高知県が作成した DVD が一番使いやすい印象を受ける
- ・ 体操のモデルは女性セラピストに依頼するのはどうか

その他

(井上常務理事)

1. 講演・賛助依頼について

継続するのか中止するのかを理事会で話し合っただけで検討する必要がある。

賛助の場合、県士会の団体名が掲載されるのであれば積極的に行っていくべきではないか。

⇒依頼文書は事務局で保管している。事務局に依頼の報告があったものに関しては会長に確認を取り報告している。

平成 28 年 8 月 9 日

代表理事：岩佐 英志 ㊟

監 事：櫻井 宏美 ㊟